

佐渡島・鼓童村を訪ねて

コンゾランでの塗り替えから10年

厳しい気候ながら良好な状態保つ

日本海に浮かぶ新潟県佐渡島。南西部の一帯では、冬場は日本海からの風が強く、塩害に見舞われやすいという。そうした気象条件の下、木材保護塗料の塗り替え工事から10年近くたつにもかかわらず、良好な状態を保っている例がある。内外で活躍する太鼓芸能集団「鼓童」が活動の拠点を置く鼓童村だ。塗り替え担当の塗装工事会社とともに、現地を訪ねた。



佐渡島を拠点に活動する太鼓芸能集団。「佐渡の國鬼太鼓座」を経て1981年に「鼓童」として結成された。年の3分の1は海外で公演。歌舞伎俳優の坂東玉三郎氏が芸術監督を務める

小木と呼ばれる半島の集落から車を走らせ、中央部の山に分け入ると、鼓童村の点在する施設が現れる。音を発する太鼓の稽古場だけあって、人里離れた環境だ。

開設は1988年。約3万坪の土地を購入し、本部棟を皮切りに、ゲストハウス、住居棟、稽古場棟などの施設を整備してきた。総勢約60

人のメンバーが、ここで暮らす。

村の中心施設とも言える本部棟と稽古場棟は、中庭をはさんで向かい合う。芝の緑に映える外壁木部の黒に近い茶は色の深みを保ち、年月を感じさせない。

ところが、外壁木部の塗り替えを実施したのは、実は村開設以来1度きり。雨だれの影響もあり、色あせ

が目立ってきたことから塗り替えに踏み切ったのは、いまから10年近く前、2004年のことである。

塗り替え用にコンゾラン 潮風強い西面は3回塗り

この塗り替え工事を請け負ったのは、小木集落のナカガワ塗装店だ。代表取締役の中川典夫氏は木材保護塗料として、完成当初に用いられていた含浸型のキシラデコールに代え、造膜型のコンゾランを用いた。現在のキシラデコールコンゾランの前身にあたる製品だ。

ここでいう含浸型は、防虫・防腐の有効成分を木材の内部にまで浸透させることで効果を発揮するもの。これに対して造膜型は、木材の表面に塗膜をつくることで防虫・防腐の効果を発揮するものである。塗り替え時に造膜型を用いるのは、当時、中川氏の基本スタイルだった。「10年ほど前、塗り替え後も長持ちする塗料はないかと島内の同業者と相談し、コンゾランを紹介されたのです。店舗での使用例を見に行く



写真下は1988年に移築した本部棟、写真右上は92年に新築した稽古場棟。外壁の木部は当初、木材保護塗料のキシラデコールで仕上げた。その後、2004年に実施した塗り替えでは、キシラデコールコンゾランの前身にあたるコンゾランの「チョコレート」を用いた。10年近くたつものの、劣化は見られない

と、塗装後5年はたっていましたが、当初の状態を保っていました」

すぐに自ら担当する工事でも採用し、中川氏はコンゾランを塗り替え塗料の定番に据える。「基本は、下塗り用のプライマーに2回の重ね塗りです。ただ佐渡では、冬場は西風が強く塩害がひどい。西面は3回の重ね塗りを施すことがあります」。

コンゾランの一番の魅力は「長持ちすること」と中川氏。実際にどの程度の耐候性があるかを見届ける狙いもあって、コンゾランを使うようになったこの10年、手掛けた案件のその後を記録し続けてきたという。「再度塗り替えを必要とした案件はこの10年、まだありません」。

色数増えた新コンゾラン 茶系の使いやすさに期待

コンゾランが12年12月、人気の茶系でカラーバリエーションを増やし、キシラデコールコンゾランに生まれ変わると、自ずとそれが、中川氏の常用塗料になる。伸縮性・通気性・密着性に富む塗膜特性はそのままに、有効成分の追加で木材保護塗料(WP)として認められるようになり、

初めての塗り替えで意義を 必要性認識し第二弾を実施



鼓童 大井 良明氏

木にはこだわりがあります。太鼓を叩いたとき、コンクリートの空間とでは反響が異なります。それに、年月を経た古い部材にも魅力を感じます。事務所や食堂を置く本部棟やゲストハウスとして用いる和泉邸には、島内から移築した古民家を活用しています。

雨漏りなどの具体的な不具合でも起きない限り、メンテナンスの必要は考えたことがありませんでした。ところが、本部棟と稽古場棟の外壁

を完成から十数年後に初めて塗り替え、その意義を感じるようになりました。塗り替えから同じくらいの年月がたつにもかかわらず、当初と変わらない状態を保ち続けることができているからです。

2013年7月には、1991年完成の住居棟とゲストハウスの和泉邸で外壁塗り替えに踏み切り、同じ塗装会社に工事を依頼しました。いまは「塗り替えは必要なメンテナンス」と考えるようになっています。(談)

公共建築にまで適用範囲を広げた。

何より評価したのは、中川氏自身が望んでいたように、茶系でカラーバリエーションが計9種類と豊富になった点だ。コンゾランで用意する茶系は計6種類。「ただ現場で使えるのは、『チョコレート』と『ダークブラウン』を1対1の割合で調合したものくらい。茶系で使えるような色が加わ

ったのは、ありがたいですね」。中川氏は期待を掛ける。

そのキシラデコールコンゾランを用い、中川氏は13年7月、鼓童村の住居棟とゲストハウスで塗り替えを実施した。耐候性に富む塗膜は本部棟や稽古場棟と同じように、建物の外壁を厳しい気候から守ってくれるに違いない。

木材保護のトータルソリューションパートナー

日本エンバイロケミカルズ株式会社



キシラデコール

JASS18 M-307 適合品



日本建築塗料部門 7年連続1位



キシラデコール コンゾラン

【お問い合わせ】 大阪ガスグループ [製造販売] JChem 日本エンバイロケミカルズ株式会社

●大阪 〒550-0023 大阪市西区千代崎三丁目南2番37号 ドームシティガスビル ☎06-4393-0054 ●東京 〒105-0014 東京都港区芝二丁目5番10号 芝公園NDビル3階 ☎03-5444-9860
☎0120-124-123 www.jchem.co.jp [キシラデコールに関する情報満載! ▶ www.xyladecor.jp]